

ORACLE SQL DEVELOPER による移行

概要

統合移行環境の利点

- 移行 IDE による強化されたグラフィカル・インタフェース
- Translation Scratch Editor
- Translation Difference Viewer
- 最小権限での移行
- オンラインまたはスクリプト・ベースの移行
- 生産性の向上

サポートされるデータベース

- Microsoft SQL Server
- Microsoft Access
- MySQL
- Sybase Adaptive Server
- DB2 LUW
- Teradata

あるデータベースから別のデータベースへの移行は、多くの場合、リスクが高く費用と時間のかかるプロセスとなります。Oracle SQL Developer による移行では、Oracle 以外のデータベースを Oracle プラットフォームに移行する際の時間、リスク、経済的な問題が軽減されます。

はじめに

Oracle SQL Developer は直感的なツールであり、簡単なポイント・アンド・クリック操作で、スキーマ・オブジェクト、トリガー、ストアド・プロシージャを含むデータベースを Oracle Database に移行できます。

このデータ・シートでは、Oracle SQL Developer の移行機能について説明します。

サポートされるデータベース

表 1 は、現在、SQL Developer により Oracle Database に移行できる、Oracle 以外のデータベースの一覧です。

Oracle 以外のデータベース	バージョン
Microsoft SQL Server	7.0、2000、2005
Microsoft Access	97、2000、2002、2003
MySQL	3、4、5.0
Sybase Adaptive Server	12、15
IBM DB2	LUW 7、8、9
Teradata	12

表 1：移行可能な Oracle 以外のデータベース

SQL Developer のおもな機能は次のとおりです。

- **統合されたユーザー・インタフェース**：移行機能は Oracle SQL Developer に統合されているため、Oracle 以外のデータベースと新たに移行した Oracle Database の両方を同じ開発環境で参照できます。
- **最小権限での移行**：DBA 権限がなくても、ソース・データベースのオブジェクトをターゲット・データベースに移行できます。この最小権限での移行機能により、アクセス権限しかないオブジェクトを移行でき、移行を実行するための特別な権限は不要となります。
- **Quick Migrate**：ウィザードを使用して、スキーマとデータを Oracle に移行できます。これは最小権限での移行をサポートしています。
- **設定可能な DDL スクリプトの生成**：Oracle スキーマを作成するための DDL が生成されますが、ユーザーは出力された DDL を完全に制御できます。

- **オンライン・データ・モード**：設定可能な、高速かつ並列のデータ移動が可能です。すなわち、可能な限り迅速にデータを移行できます。
- **オフライン・データ移動**：Oracle 以外のデータベースからデータをオフロードするためのプラットフォーム固有のスクリプトと、データが必要などときにはいつでも実行できる SQL*Loader インポート・ファイルを生成できます。
- **移行ナビゲータ**：ソース・データベースと Oracle Database が視覚的に表現される直感的なユーザー・インタフェースで、移行プロセスをガイドするシンプルなコマンドを利用できます。
- **リポジトリ・ベース**：本番データベースの構造に関する情報を格納するリポジトリです。これにより、本番データベースに影響を与えることなくデータベース構造を変更できます。
- **高度な解析および変換テクノロジー**：このツールでは、T/SQL を解析して認識し、PL/SQL と同等のものに変換できます。また、スキーマ・オブジェクト間の相互依存性（スキーマ内依存性）を処理し、ストアド・プロシージャ、トリガー、ビュー、ルール、および制約を変換できます。
- **Translation Scratch Editor**：Transact SQL および Microsoft Access SQL のインタラクティブな編集機能により、PL/SQL または SQL に即時に変換できます。このエディタは、1 つの文および複雑な SQL スクリプトの変換をサポートしています。
- **Translation Difference Viewer**：変換後の SQL を検査するためのインライン・グラフィカル・ビューアです。このビューアでは、変換後の SQL コードを色分けし、並べて比較し、ソース・コードと変換後のコード間のセマンティック上の類似点を表示できます。
- **完全なユーザー制御**：すべてのデータ型のマッピングを選択する機能、選択的なオブジェクトの移行、および移行プロセス中にオブジェクトをドロップするか、またはオブジェクトの名前を変更する機能をはじめとしたカスタマイズ機能では、ユーザーには完全な制御権限が与えられます。
- **インタラクティブな移行ログ**：強化された移行ログにより、移行プロセスに関する情報をひと目で確認できます。ログ内の項目はクリック可能で、問題があるオブジェクトに瞬時にアクセスできます。
- **Reserved Name Resolver**：これは、Oracle の予約語との競合を自動的に解決します。

サポート

Oracle SQL Developer は、Oracle Database サポートを受けているすべての顧客向けのサポート対象製品です。見つかった問題はすべて、Metalink を通じて報告できます。

Migration Center

移行関連の情報は、OTN Migration Center でご覧ください。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/tech/migration/index.html>

ソフトウェアのダウンロード

OTN の Web サイトから無償でダウンロードできます。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/software/products/sql/index.html>

ディスカッション・フォーラム

ディスカッション・フォーラムには、次のアドレスからアクセスできます。

<http://otn.oracle.co.jp/forum/forum.jspa?forumID=24>

結論

Oracle SQL Developer では、Oracle 以外の一般的なデータベースから、Oracle9i Database、Oracle Database 10g、および Oracle Database 11g への移行がサポートされています。この移行プロセスの大部分が自動化されているため、移行時間が短縮されます。また、SQL Developer に緊密に統合されているため、Oracle 以外のデータベースの内容の表示、移行処理の実行、生成されたスキーマ・オブジェクトと移行されたデータの操作を 1 箇所で行うことができます。Oracle SQL Developer は、無償で提供されています。これらの機能を兼ね備えることで、SQL Developer は、今日の市場において、Oracle 以外のデータベースを Oracle に移行するためのもっとも強力なソリューションとなっています。

お問い合わせ先

Oracle SQL Developer について、詳しくは oracle.com を参照するか、Oracle Direct にお問い合わせください。



Copyright © 2009, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなるほかの保証や条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。0109
2010 年 5 月